

本日、「神門通り」の「勢溜^{せいだまり}」から「一畑電車出雲大社前駅」までが完成の運びとなりました。

神門通りの整備は、「平成の大遷宮」に全国からお客様をお迎えするため、地域の皆さんとともに進めてきた事業であります。この完成の喜びを皆さんとともに分かち合うことができることは、県として大変嬉しいことでもあります。

これもひとえに、貴重な土地をご提供いただきました地権者の皆様をはじめとする地域の皆様、国会議員の皆様、県議会・市議会議員の皆様、出雲市当局の皆様、そして工事を担当された関係者の皆様など、関係の皆様方のご尽力の賜物であり、厚くお礼を申し上げます。

住民の皆さんには、計画づくりの段階からたくさんご参加をいただき、話し合いをさせていただきました。

その結果、安心して楽しみながら歩ける道をつくろう、ということになりました。歩道を広げて歩きやすくし、車はスピードを落として、人と車が譲りあって通るような道にすることになりました。

また、出雲大社の参道にふさわしい風格と活気のある空間となるよう、電線類の地中化、石畳舗装、照明のデザインなど、沿道の建物や松並木と調和を図りながら整備しました。

そして今、沿道には新規出店が相次ぎ、出雲大社の門前は ずいぶん賑わってまいりました。

県では今後も地域の皆さんと一体となって、道づくり、まちづくりに取り組んでまいります。引き続き、ご支援・ご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

終わりに、本日ご列席の皆様方の益々のご健勝と地域のご発展をご祈念申し上げます、挨拶といたします。